

みんなの

ひがし笑/楽/好

燕市立燕東小学校 学校運営協議会だより 令和6年6月11日 発行

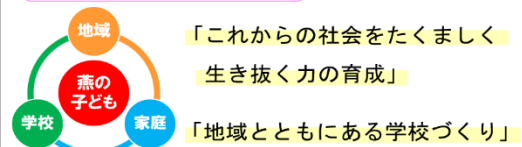
「コミュニティースクール」が始まりました

今年度、燕市は全小中学校で「コミュニティースクール」制度を導入しました。「コミュニティースクール」とは、右の図のとおり、子どもたちの豊かな成長のために必要な支援について学校と地域が協議する「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

学校運営協議会は、地域・保護者・教職員それぞれの代表で構成され、学校の運営方針に対して意見交換したり、子どもたちの様子からそれぞれの立場でできることを議論したりする「熟議と協働の場」です。「熟議と協働」の回数を重ねることで、未来を担う燕の子どもたちを地域・家庭・学校が一体となって育てていくことを目的に設置されました。この制度の導入により、「地域とともにある学校づくり」がより一層推進されることが期待されています。

コミュニティ・スクールとは？

学校運営協議会 を設置した学校



学校運営協議会とは？



燕市教育委員会の資料より

やってみました！燕東小学校の第1回学校運営協議会

本校では、5月に第1回学校運営協議会を開催しました。今年度の学校の運営方針にご賛同いただいたうえで、下記のようなご意見をいただきました。



- 学校が行っている地域に出て学ぶ活動は、子どもたちの中にも印象が強く残るようだ。卒業してもつながりが続いている。
- 子どもたちが外に出てくると、見に来てくれる地域の人もいる。地域が受け入れてくれることが、子どもたちの「また行きたい！」という思いにつながっているのではないか。
- 公園など、子どもたちの居場所になる所があればいいと感じる。家から出れば地域とつながっていける。見守る人がいてくれればありがたい。

「地域教育プログラム」をはじめとする、燕東小学校の地域で学ぶ活動の意義が再確認されました。次回は9月5日（木）、学習参観を含めて開催する予定です。

タイトル「みんなのひがし笑/楽/好」について

コミュニティースクール制度の導入にあたり、「子どもたちを取り巻くみんなで、燕東小学校を『笑』えて、『楽』しくて、大『好』きな場所になるようにしていきましょう！」という思いで付けたタイトルです。今後、学校運営協議会の活動や協議内容を随時紹介していきます。